

状にふくらんでいる開花直前の小花のつぼみに指で触れると、突然花卉が開き、おしべが展開することを増井がみつけた。同じ状態のつぼみについては、同じ反応があることを

知った。ヤマボウシの開花行動はこれまで記録されていないと思うので報告する。

(東洋工学専門学校)

イシガキカラスウリとオオカラスウリについて (山崎 敬)

Takasi YAMAZAKI: On *Trichosanthes ishigakiensis* Walker and *T. sinopunctata* C. Y. Cheng & C. H. Yueh (Cucurbitaceae)

戦後アメリカの学者が沖縄の研究者の協力のもとに、かなり詳細に沖縄の植物の採集を行った。その中で、F. R. Fosberg 氏は1956年に多数の植物を採集している。1971年に、この採集品の中から新種として、*Ilex fosbergiana* S. Y. Hu ex Walker と *Trichosanthes ishigakiensis* Walker が報告された。*Ilex fosbergiana* はムッチャガラのこと、その異名となる。*Trichosanthes ishigakiensis* には問題が残されている。これは初島住彦氏が採集し、台湾のイモノハカラスウリ *Trichosanthes homophylla* Hayata に当てたのと同じものである(初島, 琉球植物誌: 591, 1971)。しかしこの時には初島氏の手もとにはあまり良い標本が無かったらしく、その後、*T. ishigakiensis* を種として認め、*T. homophylla* に当てたのは *T. ishigakiensis* の幼型を誤認したものだとして記している(初島, 琉球植物誌, 追加と訂正: 895, 1975; 初島, 天野, 琉球植物目録: 142, 1977)。この標本の重複品は初島氏から寄贈していただいて東大にも保存されているが、花も実もない標本である。しかしイシガキカラスウリは台湾の *T. homophylla* と比べると、花も葉の形も異ならない。種として同じものだと思う。ただ初島氏が琉球の植物の記載で、台湾のものに比べて無毛であると記しているように、台湾のものは茎や葉柄、葉の裏面脈上に粗い毛が生えているのに、琉球のものは茎や葉は完全に無毛である。変種程度の区別はしてよいものと思う。ウリ科研究の専門家であるC. Jeffrey氏もそれに気がつき、東京大学の標本に手記している。ただ学名は *T. homophylla* Hayata var. *glaberrima* Hatusima を使用している。しかしこの学名は未発表で、交換標本として送った標本上に記されただけ

のものである。Jeffrey氏もこれについて発表していないようなので、正式に発表された *T. ishigakiensis* Walker を基準とするのが妥当であろう。イシガキカラスウリの良い標本を採集して下さった沢岷安喜氏に深謝します。

Trichosanthes homophylla Hayata var. *ishigakiensis* (Walker) Yamazaki, stat. nov.

Trichosanthes homophylla auct. non Hayata: Hatusima, Fl. Ryukyus: 591 (1971).

Trichosanthes ishigakiensis Walker in J. Jpn. Bot. 46: 71 (1971).

Hab. Ryukyu. Isl. Ishigaki, Sarahamayama, 340 m (Fosberg, Jul. 23, 1956, no. 38081, Isotype of *T. ishigakiensis* Walker, TI). Ishigaki, Tomino (Hatusima, Jul. 18, 1956, no. 18927, TI as *T. homophylla* var. *glaberrima* Hatusima). Ishigaki, Bannadake (A. Takushi, Jun. 5, 1993, no. 6739, TI).

This variety differs from var. *homophylla* in Taiwan by completely glabrous stems and leaves.

四国、九州南部から琉球、台湾、中国大陆に分布するオオカラスウリは、インドシナからインド、ヒマラヤに分布する *T. bracteata* (Lam.) Voigt (= *T. tricuspidata* Lour.) と同じものと考えられ、その学名が使用されてきた。ところが真の *T. bracteata* は葉は5深裂し、萼筒は長さ約4.5mm、花は淡紅色である。オオカラスウリは葉は5-7中裂し、萼筒は長さ約7mm、花は白色であるなど異なる。このことは楽 崇熙・誠 静容氏によって明らかにされ、海南島から早田文蔵氏が報告した *T. punctata* Hayata がそれに該当するが、この名には先行名があるため *T. sinopunctata* C. Y. Cheng & C. H. Yueh の名を与えた(中国植物

分類学報 12: 437, 1974). 初島住彦氏はオオカラスウリにこの学名を採用している(初島, 琉球植物誌: 追加と訂正 II: 895, 1975). しかしこの種類に対する最も古い学名は, 台湾から記載された *T. laceribractea* Hayata であ

り, オオカラスウリにはこの名を使うべきである. 中国植物志ではすでにこれを採用している(中国植物志 73-1: 228, 1986). 正名と異名とはそこに詳細に書かれているのでここでは省略する. (東京都中野区 [redacted])

おしば標本貼り付け用ヒートシールテープの自作法 (金井弘夫)

Hiroo KANAI: How to Make Heat-seal Tape for Mounting Herbarium Specimen

ポリエチレンラミネート紙のテープを, 電気ハンダ鋺で熔着しておしば標本をマウントする方法は, 今やわが国の多くの標本室で採用されている. この道具は「ラミントン」の名で, 双葉商会から販売されてきた. ところがテープ製作の手間が経済的に引き合わなくなったため, 先行き供給の見込みがなくなったという情報が数年前から流れ, 何とかならないかとの問い合わせが, 開発者である私によせられていた. 現在の最小6mm幅のテープを元のロールから切り出す技術は思いのほかむづかしく, 双葉商会の羽代茂氏が, カット業者(スリッターと呼ばれる)と共に苦労して開発した賜物なのである. 私の当初の要求は5mm幅だったのだが, そこまではゆかなかった. こういうテープは他に業務用の用途がなく, おしば用にのみ特製されていたのである. つまり鋺よりテープの方に金がかかっているのだが, テープには元をとれるほどの値をつけられない. 「鋺はいらないからテープだけ欲しい」と言う人が多かったが, 双葉は鋺を購入した者にのみテープを供給するという方針をとっていた. このため, 個人ユーザーにまで普及し難いうらみがあったが, 実はこういう背景があったためである. 双葉商会によれば, たしかに新しくテープを作ることではできなくなったが, しばらくの間はこれ迄のストックで対応できるとのことであった. 標本室をもつ大口ユーザーはすでに十分の量のテープを確保していて, さし当たり痛痒を感じていないようだが, この方法を維持普及するつもりなら, 打開策を探しておく必要がある. そこで近い将来に備えて, このテープの自作法を探ってきた. シートを買って細長く切ればよいわけだが, 入手もカットも口

で言うほど楽ではない. 以下に紹介する方法では, 出来ばえは双葉製に及ばないので, 双葉商会に在庫がある限り, そちらを使うことをおすすめしておく.

テープに用いる加工紙は, 金井1974ではヒートロン(南国パルプ製), ラミコート(東京加工紙製)と紹介したが, 今回調べてもらったところ, ジャピロンPC(日本紙業製)とのことだった. これはレーヨン紙にポリエチレンをラミネートしたもので, 銘柄は5-1715, これは坪量17g/m²の紙に15 μ の厚さでラミネートしたものだが, 他社の製品でも使えるだろう. 現在われわれが使っているテープ状のものの類似品は, メーカーでもちょっと考えつかないそうである. この紙は和洋菓子の包装などによく使われる業務用で, 小売り店での購入はむづかしく, 製造元でも小口の注文には応じられないという. 元のロールの大きさは幅1250mm, 長さ1000m(直径25cm)とのことで, われわれではちょっと扱えそうもない. この点からしても, 双葉商会が永らく供給を続けて下さったことを多とするものである.

市販品としては, おし花電報で使われているような, アイロンを用いておし花や切り抜き記事を封入する趣味の材料として, 「ぴたっこ」(小津和紙博物舗製)という品が販売されている. この商品は75×80cmのラミネート紙一枚で, 価格は1000円とかなり割高だが, 発売元への直接注文なら, 量が多ければ割引があるとのことである. 雲竜と無地があり, 雲竜の方が繊維が長くてよさそうである. この品は東急ハンズのクラフトコーナーでも販売されている. ミュージアムショップで扱っているところがあるかも知れない. こ